

事務事業コード	780312	事務事業名	消防水利整備事業	担当部	消防局
				担当課	警防課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	消防団係
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	64-0432
基本事業名	1	防災関連施設の整備		内線番号	4510
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	1	消防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	3	消防施設費	根拠法令・条例等	消防法第20条
	コード	780312			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
国庫補助対象である耐震性貯水槽40m <sup>3</sup> 型(防火水槽)を設置。また、耐震性貯水槽40m <sup>3</sup> 型を設置できない地域(工事中大型車の進入困難場所、用地問題)においては簡易の10t槽(移動可能)を設置し、市の消防に必要な水利(消防水利)を確保する。 また、既存の防火水槽の撤去や修繕を行っている。 【耐震性貯水槽・・・強度が強く、震度7程度の地震に耐えられ、防火用水としての機能だけでなく、生活用水(飲料水を含まない)としても有効な水槽である。】			1 耐震性貯水槽4基設置 (霧島、牧園町、国分、溝辺町) 2 簡易10t槽(横川町) 3 防火水槽修繕				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	耐震性貯水槽40t槽設置数及び簡易10t槽設置数	基	1	5	1	5	
イ	防火水槽及び消火栓等の改修数	基	8	12	20	20	
ウ	防火水槽撤去数	基	0	0	0	2	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市民	霧島市人口	人	127,365	127,475	128,362	128,861
イ	消防職員	霧島市消防職員数	人	179	180	181	181
ウ	消防団員	霧島市消防団員数	人	1,149	1,168	1,175	1,182
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	市民に安心感を与える	現有水槽数	基	831	836	837	840
イ	早期消火により、被害を最小限に止めることができる。	設置、修繕	箇所	11	25	25	25
ウ	安全確実な水利の確保により、消火活動を円滑にすることができる	撤去	基	0	0	1	3
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	必要な施設や資機材が整う	消防力整備指針の達成率	%	100.00	100.00	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
予算額	当初予算額	28,260
	補正予算	0
	予算合計	28,260
決算額	国庫補助金	9,382
	県支出金	0
	地方債	9,000
	その他	0
	一般財源	7,631
支出合計	26,013	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
消防法(昭和23年)消防水利の基準を定めたことによる。	市民の防災意識が高まる中、耐震性貯水槽(防火水槽)設置の必要性、要望は高まってきている中、民有地にある既存の防火水槽の撤去が増加している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
防火水槽の設置時の環境、地域性、価値観の変化と併せて、消火栓の設置、整備が進む中で、撤去要望へとつながっているものと思われる。	

事務事業 コード	780312	事務 事業名	消防水利整備事業				担当部	消防局
							担当課	警防課

単位:千円		平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費	1,178		1,178	1,000		1,000	1,000		1,000
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料	1,178		1,178	1,000		1,000	1,000		1,000
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料				160		160	160		160
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費	9,458	9,382	18,840	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
16	原材料費	1,095		1,095	1,800		1,800	1,800		1,800
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金	4,900		4,900	3,000		3,000	3,000		3,000
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		16,631	9,382	26,013	15,960	10,000	25,960	15,960	10,000	25,960

財源内訳	国		9,382	9,382		10,000	10,000		10,000	10,000
	県									
	地方債	9,000		9,000	9,800		9,800	9,800		9,800
	辺地債									
	過疎債	2,200		2,200	7,500		7,500	7,500		7,500
	合併特例債	6,800		6,800	2,300		2,300	2,300		2,300
	その他									
一般財源	7,631		7,631	6,160		6,160	6,160		6,160	
計	16,631	9,382	26,013	15,960	10,000	25,960	15,960	10,000	25,960	

補助率	国	50%			50%			50%		
	県									
補助基本額	18,764			20,000			20,000			

平成 24 年度	当初予算	28,260千円		
	補正予算			
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	28,260千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	780312	事務事業名	消防水利整備事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全確実な水利の確保により、消火活動が円滑になり、必要な施設や資機材が整う。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防法第20条(消防に必要な水利施設は、当該市町村がこれを設置し、維持し及び管理するものとする。)により、市が行なう義務がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民のために、消防職員・消防団員が消防水利を用いて、早期消火ができることにより、市民の財産の被害を最小限に食い止めることができ、対象・意図は適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	霧島市の消防水利設置基準に対して半分にも満たないため、設置を進めていかなければならない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消防職員・消防団員の消火活動が困難になることにより、市民の生命、財産の被害が拡大する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	二次製品(工場ではほぼ完成しているものを設置現場に運び込み据え付けるもの)を地下に埋め込むだけなので、製品も安価になってきており、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費の約半分は国の補助金で、残額は起債で対応しているので事務は正規職員でなければならない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全市民の生命・財産を火災から守るための事業であり、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防水利整備は、消火活動をするために必要不可欠であり、これからますます増加していく人口に対応して計画的に設置していかなければならない。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
既設防火水槽修繕 10tタンク1基設置	既設防火水槽修繕 耐震性防火水槽40t槽設置 10tタンク設置

事務事業コード	780312	事務事業名	消防水利整備事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	霧島市の消防水利設置基準に対して半分にも満たないため、設置を進めていかなければならない。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
既設防火水槽修繕 耐震性防火水槽40t槽設置 10tタンク設置	なし

事務事業コード	780212	事務事業名	消防団車両管理事業	担当部	消防局
				担当課	警防課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	消防団係
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	64-0432
基本事業名	1	防災関連施設の整備		内線番号	4510
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	1	消防費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	2	非常備消防費		消防組織法
	コード	780212			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績			
既存の消防団車両の維持管理(燃料費、修繕料(一般修繕費、車検整備費)、自動車損害共済基金分担金、任意保険料、自賠責保険料及び重量税の支払い)に関する事務を行なう。 燃料費は、霧島市燃料単価表の単価に基づいて算定する。 緊急車両は2年ごとに車検になるので、各方面隊ごとに、車検満了となる消防車両一台一台について指名競争入札を行なって請負業者を決定している。車検終了後、車検にかかる費用、保険料、重量税の請求書を業者から提出してもらって支払いを行なう。車検整備の時点で追加整備を行なう場合は、業者から連絡をもらいその必要性を確認し追加整備をしてもらう。 車両に不都合が生じた場合は、その都度連絡をもらい確認する。その後業者へ依頼し修繕を行なう。			1 燃料費 1,577千円	2 一般修理費 1,080千円	3 車検整備費 1,812千円	4 任意・自賠責保険料 1,518千円
			平成25年度計画			
			1 燃料費 1,580千円	7 消耗品 710千円		
			2 一般修理費 748千円			
			3 1年点検費 400千円			
			4 車検整備費 2,352千円			
			5 自賠責・任意保険料 1,556千円			
			6 重量税 1,557千円	合計 8,903千円		
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	車検入札実施回数	回	7	7	7	7
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	消防団車両	台	48	44	48	44
イ	"	回	35	39	40	40
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	消防団車両の徹底した維持管理を行い、災害に備える。	%	100	100	100	100
イ	"	%	100	100	100	100
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	必要な施設や資機材が整う	%	100	100	***	***
イ						

(2) 事業費 単位:千円

	24年度(決算)	25年度(予算)
当初予算額	7,706	8,903
補正及び流用	▲ 7	
予算合計	7,699	8,903
国庫補助金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	7,301	
支出合計	7,301	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和23年に消防組織法が施行され、それに伴い自治体消防制度が発足したことにより開始された。	この事業に関しては、大きな変化は無い。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特に無い。	

事務事業コード	780212	事務事業名	消防団車両管理事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	4,469		4,469	5,790		5,790	5,080		5,080
消耗品費				710		710			
燃料費	1,577		1,577	1,580		1,580	1,580		1,580
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	2,892		2,892	3,500		3,500	3,500		3,500
12 役務費	1,518		1,518	1,556		1,556	1,518		1,518
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料	1,518		1,518	1,556		1,556	1,518		1,518
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費	1,314		1,314	1,557		1,557	1,314		1,314
28 繰出金									
計	7,301		7,301	8,903		8,903	7,912		7,912

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	7,301		7,301	8,903		8,903	7,912		7,912
計	7,301		7,301	8,903		8,903	7,912		7,912

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成24年度	当初予算	7,706千円		
	補正及び流用	▲7千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		流用	▲7
予算合計	7,699千円			

平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	車両の維持管理を行なうことにより万全な状態に保ち、災害に備えることができる。政策体系に直結する事業である。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防組織法による。地域の安心安全を守るため、また災害から地域を守るために当然に市町村がその責任を担う事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	消防団車両を対象とした事業であり、限定・追加の必要なし。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	車両の修繕は、経年劣化による不可避的なものがほとんどなので、向上余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消防車両を万全の状態に保つことができず、災害時に不具合等が生じることが予想され、災害に備えることができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)  現在は各課が所有する車両をそれぞれ管理しているため。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	車両の維持管理方法について消防団員への周知をさらに徹底することにより、修繕を減らすことができる可能性はある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	車両の車検入札の回数を減らして業務時間の削減に努めている。正職員以外でも実施可能な事業であると考えているが、現在は正職員以外の職員はいない。また、アウトソーシングしても経費削減につながるとは考えられない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	車両管理を一律に行なっているため
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
平成24年度は計画通り車検を受けられる予定なので、消防力は維持できる。	車検44台ほか修繕。車両の取り扱いについてもっと機関員に理解を深めてもらう。

事務事業コード	780212	事務事業名	消防団車両管理事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容 車検44台ほか修繕。車両の取り扱いについてもっと機関員に理解を深めてもらう。	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
--	-------------------------



事務事業コード	780214	事務事業名	消防後援会連絡協議会運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	消防団係
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	64-0432
基本事業名	3	防災関係機関・団体等と連携した体制づくり		内線番号	4510
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 19 年度~)
	項	1	消防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	2	非常備消防費	根拠法令・条例等	無し
コード	780214				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

消防後援会連絡協議会は、各地区消防後援会相互の連絡提携を密にして、霧島市の消防行政に協力し、霧島市消防団の任務達成上遺憾のないよう物心両面から消防団員技能並びに資質向上に対する後援をする。(消防出初式、消防団操法大会、年末特別警戒等、各方面隊の行事の活動援助を行う。)その協議会の組織運営の為の事務を行う。

補助金・負担金の交付先	霧島市消防後援会連絡協議会	補助金の対象経費	運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア 後援会として参加した事業数		事業	20	20	20	20
イ 消防団員が参加する事業		事業	20	20	20	20
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア 消防団員	消防団員が参加する事業数	件	20	20	20	20
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア 団員が新たに確保される	新入団員数	人	45	73	50	50
イ 技能が向上する	県操法大会に出場するチーム数	チーム	***	1	***	2
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア 災害に対処できる組織・体制が整う。	地域の自主防災組織率(自主防災組織に加入している世帯/全世帯数)	%	99.1	99.9	***	***
イ						

(2) 事業費 単位：千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)
当初予算額	757	757
補正予算		
予算合計	757	757
決算額	国庫補助金	
	県支出金	
	地方債	
	その他	
	一般財源	757
支出合計	757	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
平成17年11月、合併により霧島市が誕生したが、消防後援会は旧市町でそれぞれ運営されていた。平成19年に旧市町各後援会の副会長以上による霧島市消防後援会連絡協議会を発足、市の補助金により運営が始まる。	特になし。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業 コード	780214	事務 事業名	消防後援会連絡協議会運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	霧島市消防後援会連絡協議会									16人	補助金		補助金		補助金	
										757		757		757		
	対象地区	●								合計	757	合計	757	合計	757	
										自主財源率	100%	自主財源率	100%	自主財源率	100%	
2										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金		
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										16人	補助金負担金合計		補助金負担金合計		補助金負担金合計	
											自主財源合計	757	自主財源合計	757	自主財源合計	757
											自主財源率	100%	自主財源率	100%	自主財源率	100%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名			平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先						
	負担金額						全国	九州	県	その他			
1													
2													
3													
4													
5													
	合計												

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	757
補正予算	
合計	757

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	780214	事務事業名	消防後援会連絡協議会運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防団員が参加する事業が円滑に行われることにより災害に対処できる組織・体制が整うため結びつく
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防団は消防長の所轄下にありこれを後援する組織に市が関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	設立目的が消防団員の活動に対する後援である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	消防団員が参加する活動は、円滑に行われており、これ以上成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	中核的な位置付けであり連絡、調整を行っている。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)  消防団員の活動に対する後援団体であり、他に類似団体はない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	消防団活動の後援、活動費の援助という物心両面の後援が目的であり事業費の削減は団活動の後援の縮小になる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金請求と通帳管理の事務であるので時間等はいかからない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防団員が参加する事業へ後援を行っているため、受益機会は適正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	団員の確保については全国的に減少傾向であるが霧島市は、横ばい状況である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 春秋火災予防運動、消防団球技大会、年末特別警戒、消防出初式等に消防団員が出動するので、後援会はその活動に対して、物心両面から支援する。	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 春秋火災予防運動、消防操法大会、年末特別警戒、消防出初式等

事務事業コード	780214	事務事業名	消防後援会連絡協議会運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている (事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
	なし

事務事業コード	780210	事務事業名	消防団運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	消防団係
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	64-0432
基本事業名	3	防災関係機関・団体等と連携した体制づくり		内線番号	4510
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 24 年度~)
	項	1	消防費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	2	非常備消防費		消防組織法・消防法・霧島市消防団設置条例等
コード	780210				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
消防団員への報酬・費用弁償支給事務及び福利厚生等 消防団幹部会議・研修等の開催及び訓練等の企画立案 火災・各種災害等出動時の後方支援等			概要に同じ。				
			平成25年度計画				
		概要に同じ。					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	報酬・費用弁償支給団員数	人	1,149	1,168	1,175	1,182	
イ	会議・研修及び訓練等実施回数	回			115	120	
ウ	消防団員出動回数	回	66	64	70	70	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	消防団員	消防団員数	人	1,149	1,168	1,175	1,182
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	消防団消防力の維持	消防団員数	人	1,149	1,168	1,175	1,182
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	災害に対処できる組織・体制が整う。	地域の自主防災組織率(自主防災組織に加入している世帯/全世帯数)	%	99.1	99.9	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)	
予算額	当初予算額	193,519	191,083
	補正及び流用	▲ 7,223	
	予算合計	186,296	191,083
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	15,606	
	一般財源	166,729	
支出合計	182,335		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
警防団から消防団へ組織改革されることになり、各自治体条例の制定等を行い、昭和24年から消防団が設置される。その責務は市町村が果たすこととなっている。	過疎地域における団員の高齢化及び団員不足が深刻な状況になっている。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
特には無い。	

事務事業 コード	780210	事 務 事業名	消防団運営事業			担 当 部	消防局
						担 当 課	警防課

単位:千円		平成24年度 (決算)			平成25年度 (当初予算)			平成26年度 (見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報 酬	69,682		69,682	73,739		73,739	73,739		73,739
2	給 料									
3	職 員 手 当 等									
5	災 害 補 償 費	7,776		7,776	4,097		4,097	4,097		4,097
7	賃 金									
8	報 償 費	15,938		15,938	25,930		25,930	25,930		25,930
9	旅 費	42,840		42,840	44,000		44,000	44,000		44,000
10	交 際 費									
11	需 用 費	4,427		4,427	4,364		4,364	4,364		4,364
	消 耗 品 費	3,470		3,470	3,480		3,480	3,480		3,480
	燃 料 費	90		90	120		120	120		120
	食 料 費	830		830	700		700	700		700
	印 刷 製 本 費	37		37	64		64	64		64
	光 熱 水 費									
	修 繕 料									
12	役 務 費	119		119	200		200	200		200
	通 信 運 搬 費	119		119	200		200	200		200
	広 告 料									
	手 数 料									
	保 険 料									
13	委 託 料									
14	使用料及び賃借料	421		421	692		692	692		692
15	工 事 請 負 費									
16	原 材 料 費									
17	公有財産購入費									
18	備 品 購 入 費	3,147	10,000	13,147	8,525		8,525	8,525		8,525
19	負担金補助・交付金	27,985		27,985	29,536		29,536	29,536		29,536
20	扶 助 費									
21	貸 付 金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金利子・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積 立 金									
26	寄 附 金									
27	公 課 費									
28	繰 出 金									
計		172,335	10,000	182,335	191,083		191,083	191,083		191,083

財源内訳	国									
	県									
	地 方 債									
	辺 地 債									
	過 疎 債									
	合 併 特 例 債									
	そ の 他	15,606		15,606	29,554		29,554	29,554		29,554
一 般 財 源	156,729	10,000	166,729	161,529		161,529	161,529		161,529	
計	172,335	10,000	182,335	191,083		191,083	191,083		191,083	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 24 年度	当 初 予 算	193,519 千円		
	補 正 及 び 流 用	▲ 7,223 千円		
	第 1 回 (5月)	4,190	第 5 回	
	第 2 回 (6月)	562	第 6 回	
	第 3 回 (3月)	▲ 11,490	第 7 回	
	第 4 回		流 用	▲ 485
予 算 合 計	186,296 千円			

平成 24 年度 財源内訳の「その他」の内訳	
消防団員等公務災害補償等共済基金 15,606千円	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	780210	事務事業名	消防団運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防団組織については、方面隊方式により災害時において幹部間の連絡統制が密になったことから、連携体制が充実している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	消防団員に対し、各種災害等の防災対策についての協力依頼等を行うには担当部署が必要不可欠である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市全域を管轄(7方面隊)
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	災害時等の活動については、常日頃から各方面隊において訓練等を実施しているため、適切に保たれている。機能別消防団員の確保により向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消防団との連携が図れなくなるため、災害時等に支障をきたす。(市民の安心安全第一)
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	消防団員は、人口の過疎化・少子高齢化により減少傾向であり、霧島市においては消防団員のサラリーマン化が出始めているため、昼間における災害等において確保が難しい状況である。消防団活動は、捜索等、多数の人員が必要で削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	災害等はいつ発生するかかわからず、特に行方不明者捜索については活動人員の確保が一番大事であり、削減余地はない。消防団の実質上の指揮は、消防長、消防署長であり消防職員以外に委託はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民の安心安全に対する事務事業であり、受益者は市民全てであり公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容
新たな機能別消防団員を確保することで、消防力の向上を図る。	人口の過疎化・少子高齢化による団員の減少傾向や、サラリーマン団員の増加による昼間の災害等に対応するため、組織の充足率を上げて消防力の向上を図る。

事務事業コード	780210	事務事業名	消防団運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	機能別消防団員の確保により向上の余地はある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容 人口の過疎化・少子高齢化による団員の減少傾向や、サラリーマン団員の増加による昼間の災害等に対応するため、組織の充足率を上げて消防力の向上を図る。	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容 なし
--	-------------------------------



事務事業コード	780110	事務事業名	応急手当普及啓発事業	担当部	消防局
政策名	1	快速で魅力あるまちづくり		担当課	警防課
施策名	4	防災対策の推進		グループ	救急救助係
基本事業名	4	火災・救急・救助活動の推進		電話番号	64-0119
				内線番号	4503
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 7 年度~)
	項	1	消防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	常備消防費	根拠法令・条例等	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱 霧島市応急手当普及啓発活動実施要綱
コード	780110				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
応急手当で一番の目的は「命を救うこと」です。命に直接関係する症状があれば、その症状に応じた手当を最優先します。救命を行う上で救急隊が到着するまでの間にその場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに実施することの重要性を普及啓発するために、各種救命講習会の開催、また、出前講座等の、市民からの要請に対応します。 ・普通救命講習会(3時間) 団体・事業所等を対象 平日9時~17時 指定の場所にて開催 ・定例普通救命講習(3時間) 個人を対象 毎月第4週日曜日 9時~正午 消防局にて開催 ・上級救命講習(8時間) 8月開催 ・応急手当普及員講習(24時間) 2月開催			普通救命講習	60回	886名		
			応急手当普及員	1回	10名		
		応急手当指導員	0回	名			
		上級救命講習	1回	10名			
		応急手当講習	182回	5,331名			
		出前講座	66回	1,869名			
			平成25年度計画				
			前年度と同様 (注釈)実績は全て年中で処理				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	指導回数	回	308	310	285	290	
イ	指導対象人員	人	7,782	8,106	7,400	7,450	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	霧島市民(中学生以上)	人	108,516	112,903	108,755	108,450	
イ				108,856			
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	救急現場に遭遇した時、応急手当ができるようにする。	人	965	886	1,100	1,100	
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	救急時に早期に救命救出がなされる	%	7.1	7.1	***	***	
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)
予算額	当初予算額	220
	補正予算額	0
	予算合計	220
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	220
支出合計	220	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
平成5年に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱が制定された為、平成7年から応急手当普及啓発活動実施要綱を定め、講習会を開始した。	講習内容も除細動が追加され、マラソン大会等で除細動器(AED)を使用し社会復帰事例がマスコミ等で大きく取り上げられた事に伴い、受講者は毎年増加傾向にある。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
講習会が開催されている事自体、知らなかったもので、広く周知して欲しいと住民からの要望があった。	AEDの公共施設への設置状況や、AEDの貸し出し事業について質疑があった

事務事業コード	780110	事務事業名	応急手当普及啓発事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

単位:千円		平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費	220		220	220		220	301		301
	消耗品費	180		180	180		180	241		241
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費	40		40	40		40	60		60
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費									
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料									
	保険料									
13	委託料									
14	使用料及び賃借料									
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費							630		630
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利息・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
計		220		220	220		220	931		931

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	220		220	220		220	931		931	
計	220		220	220		220	931		931	

補助率	国						
	県						
補助基本額							

平成24年度	当初予算	220千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳			
	補正予算							
	第1回(6月)		第5回					
	第2回(9月)		第6回					
	第3回		第7回					
	第4回		第8回					
予算合計	220千円			参加費等の事業実施のための収入説明				

事務事業コード	780110	事務事業名	応急手当普及啓発事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	応急手当のできる市民が多くなることで、救急現場で救命処置が行われ、市民の救命率が向上する。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	救急業務と関連が深く救急要請時に応急手当を指導することもあり、一人でも多くの応急手当講習の修了者を育成することは、市民の安全を図る上で必要とされ、消防組織法により消防の費用負担は市町村と定められており、税金の投入は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象を中学生以上としたことは、救命に対して一定の判断ができる者と考えられる。霧島市内に勤務又は、在住する中学生以上の市民に限定したことは、市町村消防として妥当性があると考えられる。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	出前講座等の短時間講習等で、応急手当での必要性を広く市民に知らしめ、しっかりと体得できる3時間の普通救命講習会を推奨していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	救急現場で救命処置等の応急手当ができる市民が少なくなることや、これまでの受講者が応急手当の手順等を忘れてしまうことが考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) (参考)日本赤十字社有料で講習会を実施している 消防職員のなかで指導員の資格をもった者による講習である。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に必要な経費のみ計上しており削減はできない。必要な資機材は老朽化しており、成果を上げるためには機材の整備が必要である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	応急手当指導員(医師、看護師等)や応急手当普及員(一般の人で24時間の受講)の講習受講者に協力をいただき、講習会場に派遣することで、消防吏員の勤務時間削減は可能であるが、指導員・普及員への費用弁償等も考慮する必要がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種講習会は、中学生以上の市民誰でも参加できるため、受益機会の公平性については、問題ない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	780113	事務事業名	救急・救助活動事務事業	担当部	消防局
				担当課	警防課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	救急救助係
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	64-0119
基本事業名	4	火災・救急・救助活動の推進		内線番号	4503
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 7 年度~)
	項	1	消防費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	常備消防費	根拠法令・条例等	消防組織法、消防法、消防力の整備指針
	コード				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成24年度実績				
救急業務を行う上で、必要な消耗品を整備することにより、市民を救命し、苦痛の軽減や症状の悪化防止をすることができる。また、隊員の感染予防を必要とする。			旅費、消耗品費、保険料等				
救助業務を行う上で、必要な消耗品を整備することにより、市民を各種災害から早期に安全に救出することができる。			平成25年度計画				
		24年度に準じる					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	救急件数	件	5,272	5,562	5,275	5,375	
イ	救助件数	件	65	68	90	95	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	傷病患者	市民及び霧島市内で発生した災害等による傷病患者	人	4,458	4,742	4,900	5,000
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	救急活動においては、傷病者の観察及び処置の充実	応急処置を受けた人員	人	4,458	4,742	4,700	4,800
イ	救助活動においては、傷病者の安全な早期救出	救助現場から救助された人員	人	46	31	60	70
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	救急時に早期に救命・救出がなされる	応急手当技術の普及率	%	7.1	7.1	***	***
イ							

(2) 事業費 単位:千円

	24年度 (決算)	25年度 (予算)
予算額	当初予算額	3,379
	補正予算額	0
	予算合計	3,379
決算額	国庫補助金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,716
	支出合計	1,716

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
昭和38年消防法改正に伴い、消防業務の中に救急業務が明文化された。消防局の前身である国分地区消防組合に昭和42年救急車を配備し救急業務を開始した。	救急業務において、患者観察装置を使用している観察方法、救急救命士による救命処置など応急処置法が充実してきた。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
救急業務、救助業務において市民から感謝の念が寄せられている。	

事務事業コード	780113	事務事業名	救急・救助活動事務事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

単位:千円	平成24年度(決算)			平成25年度(当初予算)			平成26年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費	215		215	674		674	500		500
10 交際費									
11 需用費	1,347		1,347	1,691		1,691	1,650		1,650
消耗品費	1,298		1,298	1,640		1,640	1,600		1,600
燃料費									
食料費							50		50
印刷製本費	49		49	51		51			
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	117		117	192		192	120		120
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料	117		117	192		192	120		120
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	12		12	530		530	30		30
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	25		25	292		292	86		86
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,716		1,716	3,379		3,379	2,386		2,386

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,716		1,716	3,379		3,379	2,386		2,386
計	1,716		1,716	3,379		3,379	2,386		2,386

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成24年度	当初予算	3,379千円			平成24年度 財源内訳の「その他」の内訳				
	補正予算								
	第1回(6月)				第5回				
	第2回(9月)				第6回				
	第3回				第7回				
	第4回				第8回				
予算合計	3,379千円			参加費等の事業実施のための収入説明					

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	救急・救助活動を行う上での消耗品を整備することにより、あらゆる災害から市民を早期・安全に救出・救命することができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	災害は何時、何処でどのような事が発生するのか予測不可能なため、あらゆる災害に対処できる資器材を装備しておくことが重要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	消防組織法において、市町村はそれぞれの区域における消防を十分に果たすべき責任を有している。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	救急救命士の増員や救助隊員の専任化が望まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	あらゆる災害から市民の生命身体を守ることができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)  市町村の消防は、市町村で果たすべき責任を有しているため他に方法はない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	救急救助活動には資器材が必要であり、これらは消耗品の部分が多数あることから削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現場活動はもとより、災害現場を想定した各種訓練等が必要となるため削減余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	災害は何時、何処でどのような事が発生するのか予測不可能なため市民全体に公平・公正と考える。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	救急・救助活動は寸刻を争って活動しており、資器材の不足は市民の安心安全を担保出来ないことになる。よって今後も活動に対する投入が必要である。	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	780213	事務事業名	女性防火クラブ運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	消防団係
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	64-0432
基本事業名	5	防災知識の普及啓発		内線番号	4510
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	9	消防費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	1	消防費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	2	非常備消防費		特に無
コード	780213				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)								
女性防火クラブ21団体に補助金を交付し運営を補助する。各クラブでの研修会等をおして防災意識の高揚を図り地域自治会、消防団との協力を通じ、火災予防の推進を図る。								
補助金・負担金の交付先		女性防火クラブ	補助金の対象経費		女性防火クラブの運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)	
ア	防火研修会等活動回数		回	4	4	4	4	
イ	防火研修会等活動クラブ員数		人	192	185	188	188	
ウ								
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	女性防火クラブ員	女性防火クラブ員数		人	192	185	188	188
イ								
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	防火に関する研修会等の行事に参加する	防火研修会等活動クラブ員数		人	192	185	188	188
イ								
ウ								
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(見込)
ア	防災に対する正しい理解を深め、対応力を高める。	防災に対する意識向上がなされた市民の割合		%	73.3	73.4	***	***
イ								

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
		24年度(決算)	25年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	536	536		
	補正予算額				
	予算合計	536	536		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源				
	支出合計				
				特に無	特に無

事務事業 コード	780213	事務 事業名	女性防火クラブ運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								会員数	平成24年度 (決算)		平成25年度 (予定)		平成26年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人		福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
1	女性防火クラブ運営事業								185人	補助金		補助金		補助金	
										自主財源	435	自主財源	536	自主財源	536
	合計									435	536	435	536		
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
計									185人	補助金負担金合計		補助金負担金合計		補助金負担金合計	
										自主財源合計	435	自主財源合計	536	自主財源合計	536
										自主財源率	100%	自主財源率	100%	自主財源率	100%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成24年度 (決算)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (予定)	負担金の支払先				
												全国	九州	県	その他	
1									負担金額							
2									負担金額							
3									負担金額							
4									負担金額							
5									負担金額							
合計																

■平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	536	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	536	第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>



事務事業コード	780213	事務事業名	女性防火クラブ運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	女性防火クラブ員が防火に関する研修会等の行事に参加することで防災に対する正しい理解を深め、対応力を高めることができる
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	防火防災意識の向上のために、火災予防知識、技術の習得は必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	消防組織法第8条により、消防に関する費用は市町村が負担することとされている。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	クラブ員の行事参加がしやすい曜日、時間帯を設定する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	防火意識の向上啓発推進という面で影響が出ると考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 婦人防火協力会 上記団体は、霧島市全体を統括構成されている組織である。女性防火クラブの組織は国分方面隊各17部の予備軍的な組織であり地域が限定されており、構成単位が違うので統合できない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金は年々削減され、現状維持の状態である。自主財源(会費等)により考えられないか
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付関係事務のみである
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の女性が防火に関する行事を行うことにより、地域全体の防火意識の向上につながる為、適正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在の女性が各種の研修会・訓練等参加しやすい環境の設定が必要である。(曜日・時間帯・研修内容)	

### 3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

#### (3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成22年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成23年度に取り組むべき具体的な内容
研修視察の計画及び実施。 防災に対する意識を高める。	防災意識の向上の推進

事務事業コード	780213	事務事業名	女性防火クラブ運営事業	担当部	消防局
				担当課	警防課

#### 4. 2次評価

##### (1) 1次評価結果の客観性と出来具合

- ① 記述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)
- 記述不足で分かりにくい
  - 一部記述不足のところがある
  - 十分に記述されている
- ② 評価の客観性水準 (2次評価を行った後に総合的に判断して選択)
- 客観性を欠いており評価が偏っている  
(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
  - 一部に客観性を欠いたところがある
  - 客観的な評価となっている

(2) 2次評価		1次評価	2次評価
A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある
B 有効性	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地はない (十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥ 類似事業との 統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の 適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
総 括	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

##### (3) 2次評価結果の理由 ※上記総括で「見直す必要がある」と評価した項目について理由を記載する。

A 目的妥当性	
B 有効性	クラブ員の行事参加がしやすい曜日、時間帯を設定する必要がある。
C 効率性	
D 公平性	

(4) 評価結果にもとづく今後の方向性	1次評価	2次評価
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 廃止
[目的妥当性①②、有効性⑥の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 休止
[目的妥当性①③の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 目的再設定
[有効性⑤の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携
[有効性④の結果] ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)
[効率性⑦⑧の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)	<input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)
[公平性⑨の結果] ⇒	<input type="checkbox"/> 公平性改善	<input type="checkbox"/> 公平性改善
	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<input type="checkbox"/> 現状維持・継続

##### (5) 具体的な改善計画 \* (4)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 1次評価結果にもとづく平成26年度に取り組むべき具体的な内容	② 2次評価を踏まえ、①に追記すべき取組み内容
	研修視察の計画及び実施。 防災意識の向上の推進。